

玉名市の立地適正化計画に関する 市民アンケート調査について

玉名市

玉名市の立地適正化計画に関する市民アンケート調査について

【アンケート調査の目的】

玉名市では、今後の人口の急激な減少と高齢化を背景として、長期的視点のもと、持続可能で安定した都市づくりが求められている。

今後、玉名市が集約型都市構造である「コンパクト+ネットワーク」を目指し、持続可能で安定した都市づくりを推進するべく、「立地適正化計画」の策定を進めることとしており、広く市民の意見を聴くため、無作為に抽出した2,000名を対象とし、立地適正化計画に関する市民アンケート調査を実施した。

実地地域	玉名市全域
対象者	満18歳以上の市民
対象人数	2,000名
対象者決定方法	住民基本台帳から地域や性別、年齢を考慮した層化無作為抽出
調査方法	個人宛に郵便で配布し、開封した返信用封筒で回収(回答は無記名)

【アンケート調査の質問項目】

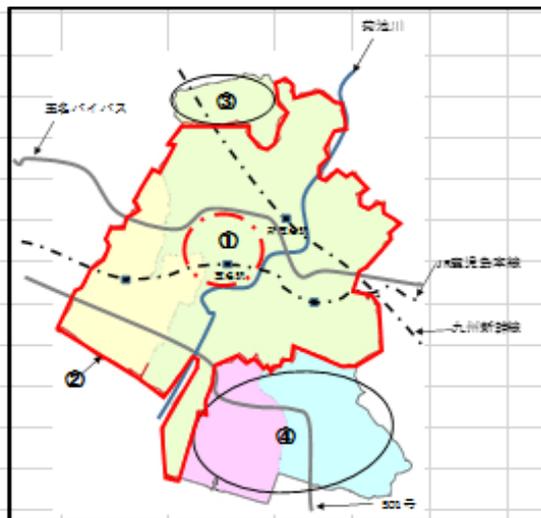
アンケートの質問項目は、次の1から6に関する内容で、選択式と一部、記述式となっています。[SA]は、単数回答、[MA]は複数回答、[FA]は自由回答となります。

1. 回答者の属性 (問1)
2. 今後の居住意向について (問2)
3. 住んでいる場所の利便性について (問3～問5)
4. 将来のまちづくりについて (問6～問9)
5. 今後必要なまちづくりの取組みについて (問10)
6. 自由記述 (問11)

【アンケート調査の回収状況】

アンケート調査票の回収数は、686票となっており、回収率は34.3%となります。

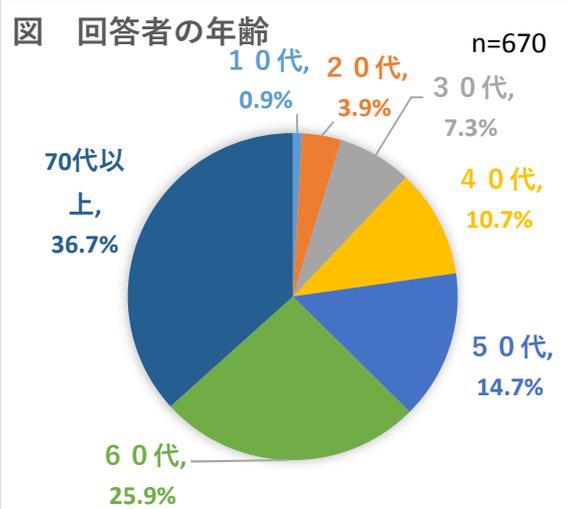
	配布数	回収数	回収率
玉名市全体	2,000	686	34.30%
①		107	5.35%
②		308	15.40%
③		54	2.70%
④		186	9.30%
不明	---	31	1.55%



1. 回答者の属性

【問1】年齢

- ・回答者の年齢は、「**70代以上**」と答え方が最も多く、次に「**60代**」が多くなっております。
- ・60代以上の回答者が、**62.7%**となり半数以上を占めます。

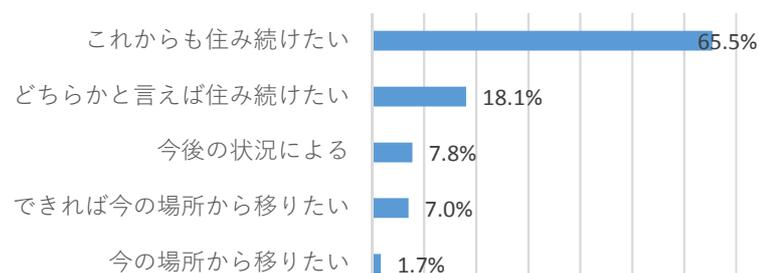


2. 今後の居住意向について

【問2】これからも玉名市に住み続けたいか[SA]

- ・今後の居住意向に関しては、「**これからも住み続けたい**」と答え方が最も多く全体の**65.5割**、次に「**どちらかといえば住み続けたい**」の**約2割**と続きます。

図 今後の居住意向 n=656



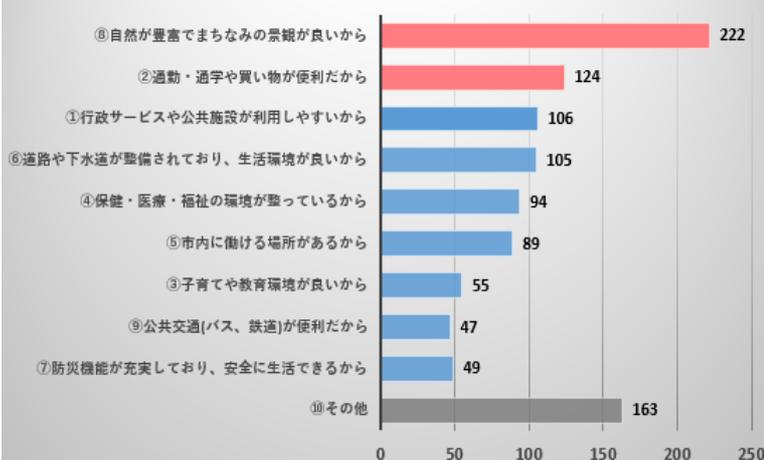
【問2-1】住み続けたい理由[MA]

- ・「住み続けたい理由」として、**通勤・通学や買い物が便利、自然が豊かでまちなみの景観が良い**と答えた方が多く、住み続けたい、どちらかといえば住み続けたいと答えた方の**6割以上**が選択しています。

「⑩その他」の主な理由

- ・ずっと住んでいる
 - ・生まれ育った場所
 - ・家があるから
- など

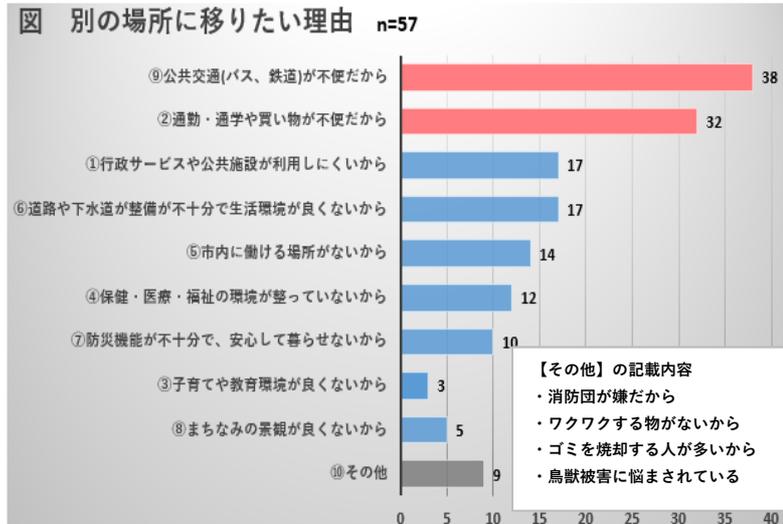
図 住み続けたい理由 n=548



【問2-2】他の場所に移りたい理由[MA]

・「他の場所に移りたい理由」と答えた方の理由としては、**公共交通の不便さ、通勤・通学や買い物が不便さを挙げる方が多く、他の場所に移りたい、できれば今の場所から移りたいと答えた方の半数以上**が選択しています。

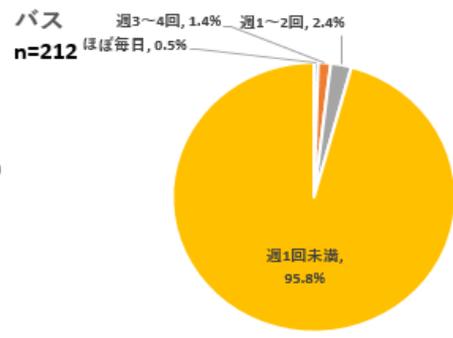
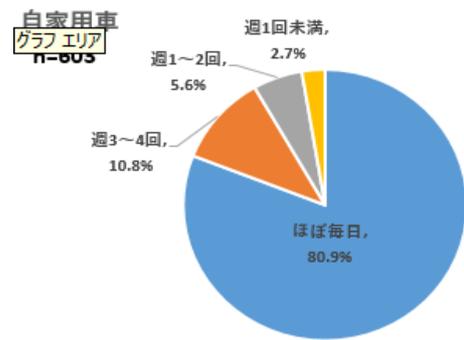
・また、**約3割**の方が、**行政サービス・施設が利用しにくい、生活環境が悪い**という理由を選択しています。



3. 住んでいる場所の利便性（現状及び将来）について

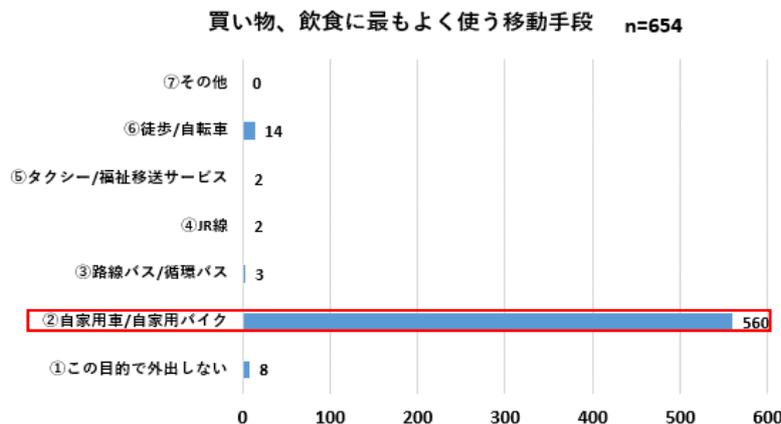
【問3】現在の移動における、自家用車、バス、鉄道（JR）の利用頻度[SA]

- ・移動手段として、自家用車を使用する方が多く、**8割**の方が、「**ほぼ毎日利用している**」と答えています。
- ・一方でバス、鉄道(JR)の利用頻度は低く、回答者の**9.5割**の方が、「**週1回未満の利用**」と答えています。



【問4】目的別に最も良く使う移動手段

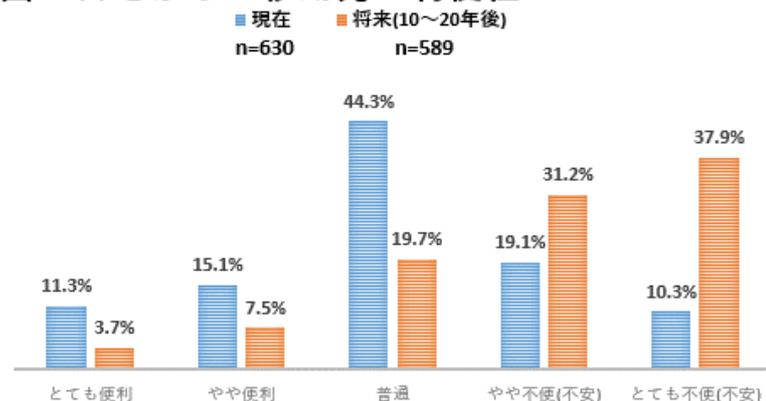
- ・目的別の移動手段で最も多いものは、「③介護・福祉サービス」を除き、「**自家用車、自家用バイク**」となっており、「①買物、飲食」では**約9割**の方が答えています。



【問5】自宅からお出かけ先の利便性(現状と将来)[SA]

- ・現状の利便性に関しては、「普通」と回答した方が、**4割以上**。
- ・将来の利便性に関しては、「やや不安」、「とても不安」と回答した方が、それぞれ**約1.5倍**、**約3.5倍**増加し、全体の**約7割**が不安に感じています。

図 自宅からの移動先の利便性



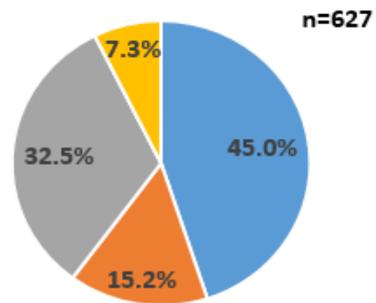
4. 将来のまちづくりについて

【問6】 将来の市街地範囲の考え[SA]

・将来の市街地範囲に関して、全体の**45%**の方が「現状を維持すべき」と答えが最も多くなっており、次に**約33%**の方が「市街地の範囲を広げていくべき」と答えています。

・「将来的に、市街地の範囲をせばめていくべき」と答えた人が**約15%**います。

図 将来の市街地範囲の考え



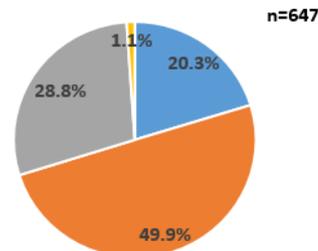
- ①現状を維持すべき
- ②将来的に、市街地の範囲をせばめていくべき
- ③市街地の範囲を広げていくべき
- その他

【問7】 中心となる市街地と、他の市街地・集落との関係に関する考え[SA]

・中心市街地との関係に関しては、**約5割**の方が、「中心市街地以外の市街地・集落でも最低限の機能は確保すべき」と答えています。

・また、**約3割**の方が、「中心市街地以外の市街地・集落でも同様に一通りの生活利便機能をそろえるべき」と答えており、次に、「他の市街地からの交通ネットワークを強化すべき」と答えた方が**約2割**います。

図 中心市街地と他の市街地・集落との関係に関する考え

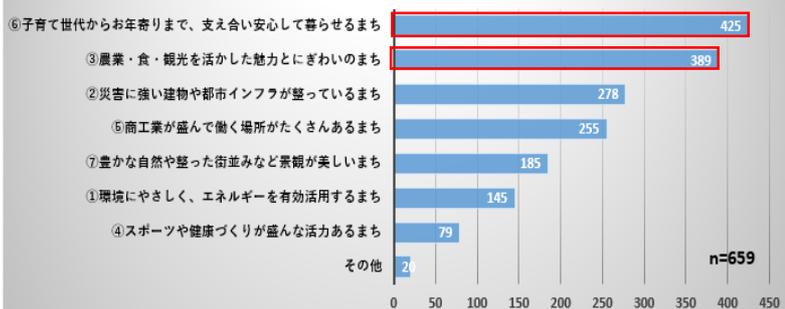


- ①中心市街地に買い物や医療などの機能を集め、他の市街地から交通ネットワークを強化し、行き来しやすくするべきである
- ②中心市街地に買い物や医療などの機能を集めるのは基本だが、他の市街地・集落でも最低限の機能は確保すべきである
- ③他の市街地・集落でも中心市街地と同様に一通りの生活利便性機能をそろえるべきである
- その他

【問8】 玉名市がどのようなまちであってほしいと考えるか[MA]

・玉名市がどのようなまちであってほしいと考えるかでは、「**⑥子育て世代からお年寄りまで、支え合い安心して暮らせるまち**」、「**③農業・食・観光を生かした魅力と賑わいのあるまち**」が多く、**約6割以上**の方が選択しています。

図 玉名市がどのようなまちであってほしいかに関する考え



【問9】 将来の生活環境で重要になると思うこと[MA]

・将来の生活環境で重要になると思うものとしては、「**③日常的に利用できる食品店などが近くにある**」、「**④病院や診療所が近くにある**」が多く、**約半数以上**の方が選択しています。

図 将来の生活環境で重要になると思うこと



5. 今後必要なまちづくりの取組みについて

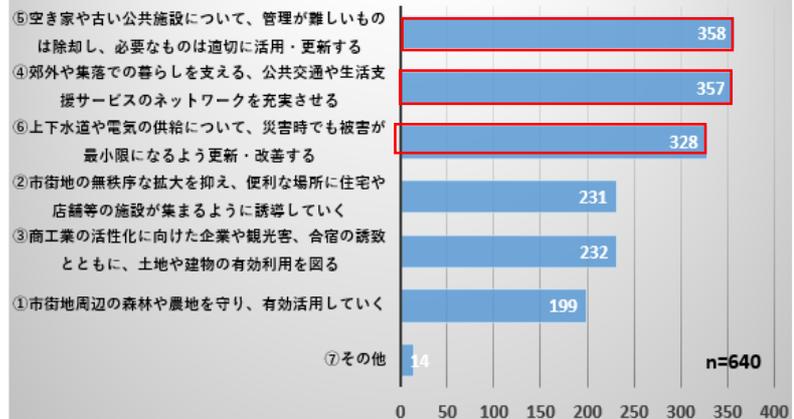
【問10】将来にわたって住みやすい玉名市を実現するために必要だと思う取組み[MA]

・市全体の取組みとしては、「⑤空き家や古い公共施設について、管理が難しいものは除却し、必要なものは適切に活用・更新する」、「④公共交通や生活支援サービスのネットワークの充実」、「⑥災害時でも被害が最小限になるよう更新・改善」が多く、**約半数以上**の方が選択しています。

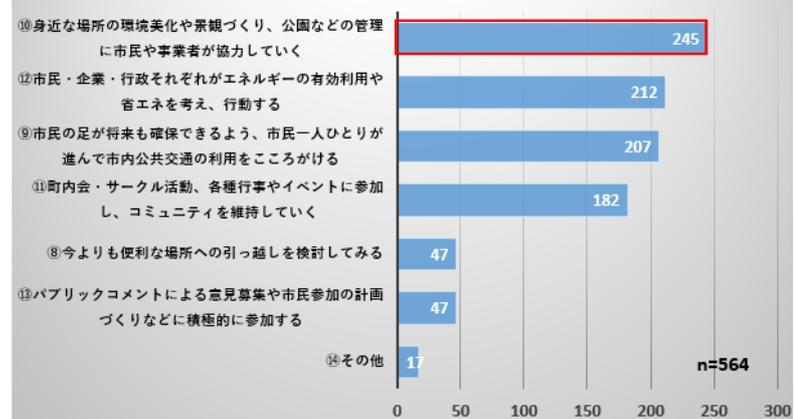
・身近な取組みとしては、「⑩身近な場所の環境美化や景観づくり、公園などの管理に市民や事業者が協力していく」が最も多く、**約4割**の方が選択しています。

・「省エネを考え、行動する」、「市内公共交通の利用をこころがける」が以下に続き、**約3.5割**の方が選択しています。

【市全体の取組み】



【身近な取組み】



6. 自由記述

【問11】玉名市のまちづくりについてお考えのこと[FA]

・玉名市のまちづくりについてお考えのことについて、全体の15%にあたる**103名**の方から回答をいただきました。

・意見として多いものとして、「市政・まちづくりへの取組みに関する内容」、「公共施設の整備・維持管理に関する内容」、「駅前整備に関する内容」などがあり、回答者の**1割以上**となります。

図 意見の内容

